

第1回西条市学校給食運営検討委員会 会議録

1 開会及び閉会

開会 平成31年2月22日(金) 午後3時00分

閉会 同 日 午後4時37分

2 出席及び欠席

出席者 委員11名(1名欠席)

教育長、事務局6名 合計18名

3 次第

(1) 委嘱状、任命通知書の交付

(2) 教育長挨拶

(3) 検討会の概要説明

(4) 役員選出

(5) 議題

①西条市の学校給食の現状及び課題について

②今後の検討会の進め方について

③その他について

4 教育長のあいさつ(検討会への諮問)

教育長 西条市の学校給食を取り巻く現状は、給食施設の老朽化や正規調理員の減少問題をはじめ、年々厳しくなる衛生管理への対応、また、食育や地産地消への取組など、さまざまな課題が山積している状況である。一方で行政では、少子高齢化等による厳しい行政運営が迫られており、長期的な展望を見据えた、より効率的で効果的な事業の推進が求められている状態である。一刻も早く今後の方針を決定して、よりよい学校給食の運営に努めていきたいと考えている。

今年「平成」から「新元号」へと変革の年となりますが、西条市の学校給食といたしましても、見直し元年として、委員の皆様からご意見を頂戴しながら、子どもたちにとっても、西条市にとっても、より良い「学校給食」を目指して検討を進めたいと考えておりますので、どうかよろしく申し上げます。

5 協議の内容（要旨）

①西条市の学校給食の現状及び課題について（事務局より説明）

《質疑》

- 委員 ・給食調理員の推移をみるとどんどん減っている。募集をしないのか。それとも何か原因があるのか。
- 事務局 ・西条市の職員採用計画により、調理員の採用が見送られている状況である。このまま新規採用がない場合、このような想定人数になる。
- 委員 ・施設の状況を見るといつ壊れてもおかしくないと思うが、今年度、施設の機器の故障が原因で給食をストップしたことはあるか。
- 事務局 ・今年度については事例なし。これまでには、施設や機器の故障により、お弁当の持参や非常食への切替、献立の変更（一部おかずが提供できなかった）の事例はある。
- 委員 ・機器の故障による異物混入や、施設の衛生面における食中毒など、この1年間で具体的な事例はあるか。
- 事務局 ・機器の不備による異物混入はないが、作業手順の不備や検収時の見落としなど数件は発生している。また、施設の不備（網戸の破れ）による虫の混入などは、数件発生している状況である。
- 委員 ・今年度郷土料理「おつり」を給食で実施した。その際、教職員のアンケートを持参している。これを見ると、教育的効果は単独校では8割、給食センターでは半分ほどになる。日々現場で仕事をしているが、大きな壁があると思う。現状の報告をさせていただく。
- 副委員長 ・食育について出来るだけいい方向で協議していただきたいということでもいいか。
- 委員 ・そのとおりである。
- 委員長 ・施設を長い間使用すればこのような状態になると思うが、なぜこのような状況になったのか。
- 事務局 ・平成25年度に検討委員会を開催した経緯があるが、この時は主に調理員の人員問題を議題として嘱託職員の導入を行い対応すること

を決定している。施設面やその他の課題について抜本的な見直しが議論されなされないまま今日に来ている状態である。

委員 ・平成16年に神拝小学校では建て替えを行い、ドライ方式を導入している。その後14、15年経つがその後はなぜ建て替えが進まなかったのか。

事務局 ・施設の整備方針や実施計画がないため、給食室の建て替えは進まなかった。その間は調理員や栄養士の先生方の頑張りで何とか給食を実施してきたが、近年、施設の老朽化や人員問題等が原因で給食現場がしんどくなっており、さまざまな課題が浮き彫りとなった。

委員長 ・ということは、この検討会委員会ではこの問題を先送りできない。ということであるのでよろしくお願いします。

委員 ・先ほどから説明があるが、施設の不備、機器の故障に対してはどのような対応をしているのか。

事務局 ・配管の割れなどはすぐに対応しているが、限られた予算の中で管理しているため、調理に支障が出る所を先に直し、その他は後回しになる。修繕を我慢していただいているところも多数ある。今のままの管理方法では、今後の安全安心な給食の提供が難しくなる。

②今後の検討会の進め方について（事務局による説明）

〈質疑〉

副委員長 ・委員会の設置目的をもう一度説明していただきたい。

事務局 ・西条市の学校給食の課題について、委員の皆様からそれぞれの立場で意見を出していただき、大きな方向性を出していただきたい。行政だけで考えるのではなく、さまざまな委員さんの意見を出来るだけ集約して、西条市の未来の給食について、1年間かけてとりまとめていただきたい。次年度からは、専門のコンサルタント会社に委託し、専門的な比較検討も行う予定としている。1年間という短い期間であるがよろしくお願ひしたい。

委員 ・具体的な方向性の説明をしてほしい。オブラートに包んでいては結論が出ないのではないか。

- 管 理 部 長 ・今回は、現状の説明をさせていただいた。皆様から頂いた意見をもって今後の方針を決めさせていただく。自校方式の継続は難しい面もあり、皆様方にはこのような状況も説明しつつ、自由な意見をいただきたい。結果ありきではないのでよろしくお願いいたします。
- 副 委 員 長 ・答申内容はどのようなものか。結論を出さなくてはならないのか。意見を集約して大筋の合意でいいのか。
- 事務局 ・方向性をお願いします。
- 委員 ・現実的なことも考えなくてはならない。今の時代なかなか自校方式の継続は難しいと思う。財政面や人件費なども考慮しなくてはいけない。今後児童数も減少するし、食育面も大事であるが、給食センターでも食育に取り組むことはできる。理想論だけで取りまとめると抽象的になりすぎる。事務局がこの方向で検討していただきたいというのは現実的であると思う。
- 委員 ・調理員の人数が減少している。施設だけでなく調理人員面についても検討していただきたい。
- 委員 ・予算や人員面もあると思うが、現状の給食室を見たい。
- 委員 ・調理員さんの労働条件、環境等も検討していけばいいと思う。
- 委員 ・小松地区なのでセンター方式に疑問は持っていなかった。建替え経費や予算の問題については考えなくていいのか。
- 管 理 部 長 ・本日は課題いうところでの議題とさせていただいた。これからはコスト比較なども出していく。お金も問題についても、必要な資料を提供するので考えていただきたい。
- 委員 ・次回以降に自校方式やセンター方式について検討していくと思うが、食育や他の問題もセットで答申していいのか。
- 事務局 ・大きなゴールは運営体制や施設整備であるが、食育や人員体制についても付帯意見として付けていただきたい。
- 委員 ・食育は大事である。これまでできていなかったことも可能になるなどさまざまな可能性がある。

委員 ・どのあたりまで検討するのか。自校式かセンター式か、施設が古くなっている。理想的な議論をするよりも、現実的な検討をしていった方がいいと思う。議論だけで終わるのはもったいない。

委員 ・保護者の一人として、子供たちに安心安全な給食を実施する。そのためにどういった施設、人員体制でおこなうか。これに尽きる思う。これから皆さんと一緒に考えていきたい。

委員長 ・事務局のスケジュール案について、承認いただいてよろしいか。

(異議なし)

③その他について（事務局による説明）

- ・ 検討会の公開、会議内容のホームページ掲載
- ・ 次回の告知（第2回検討会、調理場見学等）

委員 議事録の掲載はどのレベルか。

事務局 内容等の要約の掲載を予定

委員長 ・検討会の公開、ホームページへの会議録等の掲載について、承認いただいてよろしいか。

(異議なし)